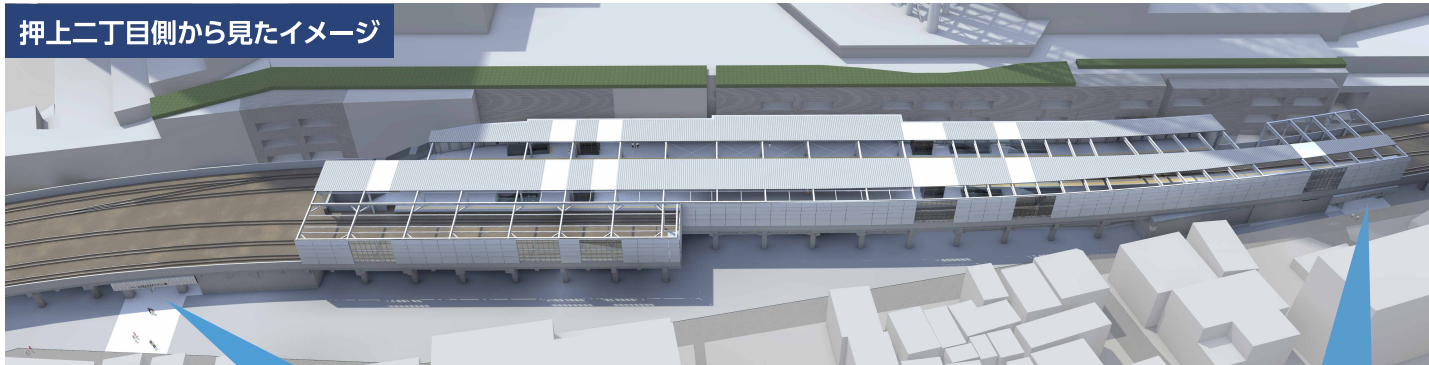


とうきょうスカイツリー駅 新駅舎デザイン(2)

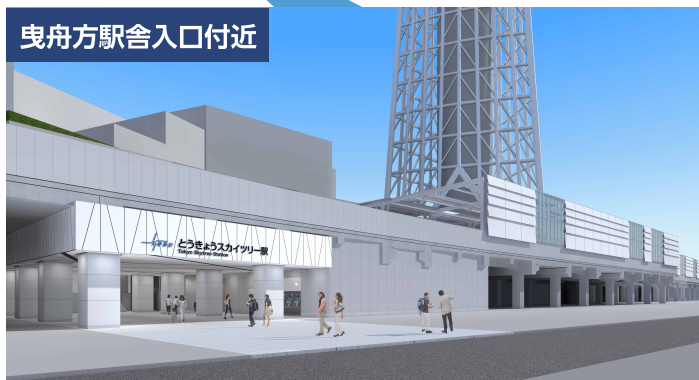
■ 押上二丁目側(北側)のイメージ

北側については伝統的な木造家屋に見られる“下見張り”^{したみば}をデザインに取り込んでいます。下見張りのパネルは上にいくほどサイズを小さくすることで視線を自然と東京スカイツリー®に導くようなデザインとしています。ガラスの外壁を南側の透過性のある素材(ポリカーボネート)と同じリズムで配置することで単調性を解消し、南北のつながりや一体感を意識したデザインとしています。

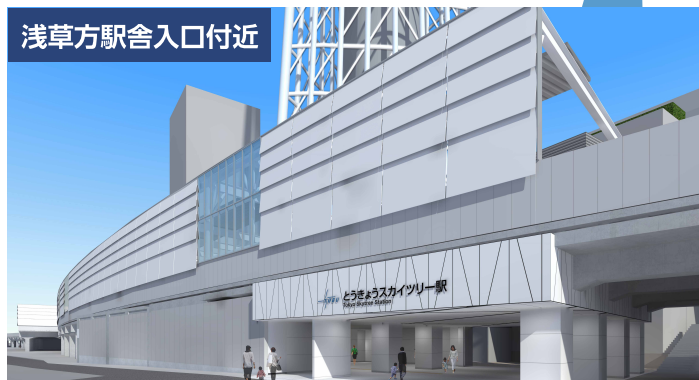
押上二丁目側から見たイメージ



曳舟方駅舎入口付近

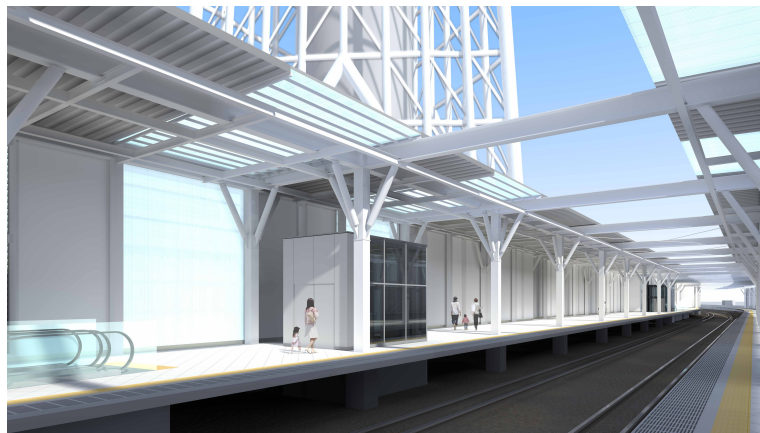


浅草方駅舎入口付近



■ ホームのイメージ

ホームについては上家を支える鉄骨を天に伸びる東京スカイツリー®の麓^{ふもと}を支える枝木のようなデザインとしています。南北の外壁と同様にホームの階段・エレベーター・エスカレーター部分の屋根は透過性のある素材(ポリカーボネート)とし、明るいホームを演出します。なお、ホーム付近のイラストにはホームドアの記載がありませんが、新駅が段階的な整備となることから、設置時期は別途検討していく予定です。※



※ 東武鉄道株式会社ホームページ「鉄道駅バリアフリーに関する整備計画【都内駅】/令和3年6月30日」に基づく